



IXIL ラシッサ 可動間仕切り 折れ戸タイプ 取付け説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

▲注意



- 本体が落下し、ケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・上レールは躯体へ必ず本固定してください。
- ・吊車はゆるみ・ガタツキのないように固定してください。

保管・施工前のお願い

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。
- 製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- 本体は、ソリ・ねじれ防止のため以下の場所には置かないでください。(直射日光が当たる・昼夜で温度差が激しい・湿気が多い)
- 壁内結露が発生する可能性がある場合は、枠部材に防水処理をしてください。
- 本体部品が損傷し開閉不良の原因になるので、落下させたり衝撃を加えないでください。
- テープを表面シートに貼ると、剥がす際にシートが損傷するので貼らないでください。
- 立て置き of 長期保管はソリ・ねじれの原因になるので、寝かせた状態にしてください。
- 損傷防止のため、本体は建築工事完了後に吊込むことをおすすめします。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	吊車はゆるみ・ガタツキなく本体に固定しましたか？	☐
2	上レールは躯体に本固定しましたか？	☐

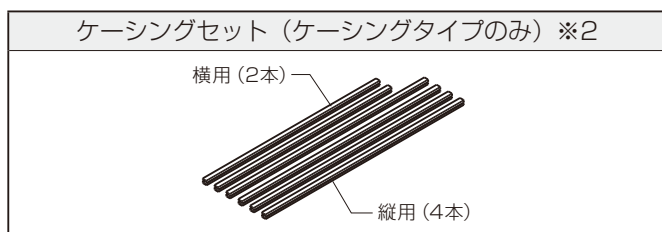
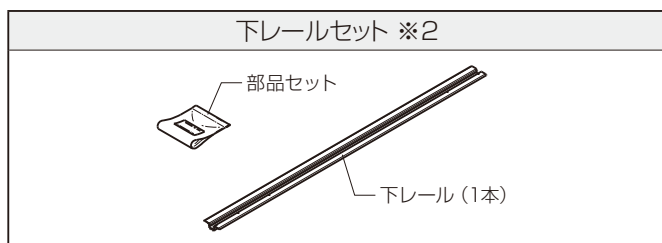
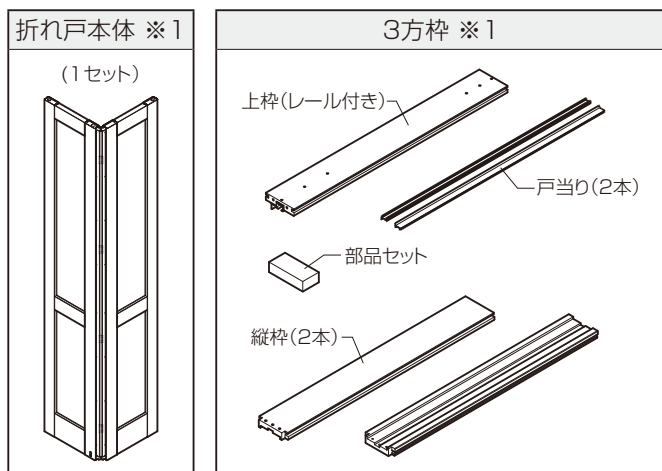


このマンガはフィクションです。
実在の人物や団体などとは関係ありません。

■部材の明細

※1 枠はノックダウン、本体は完成品

※2 別売品



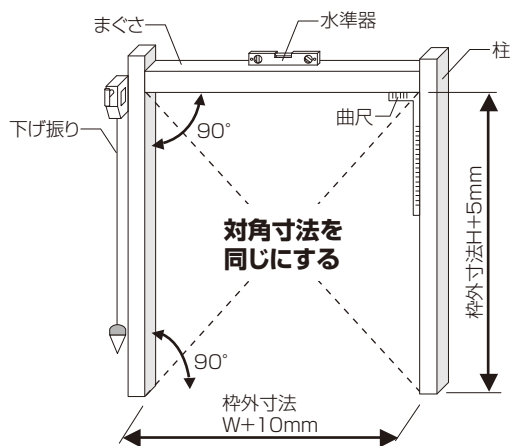
□開口部の作り方

開口部の作り方上のお願

- 製品不具合となるので、全て含水率20%以下の建築材料を使用してください。
- 躯体の強度不足は、垂下がりの原因になるので本体40kg/枚に耐える強度を確保してください。
- 【軽量鉄骨に施工する場合】
- 軽量鉄骨との干渉を避けるため、必ず40mm以上の木枠を入れてください。

- 開口は、枠外寸法に対して高さ： $H+5\text{mm}$ 、幅： $W+10\text{mm}$ で作ってください。
- ※開口は必ず水平垂直にしてください。

●開口部寸法の出し方



■対応壁厚について

(単位：mm)

ノンケーシング	見込み	対応壁厚
	NC140	101～115
	NC156	116～130
	NC171	131～145
	NC180	146～160

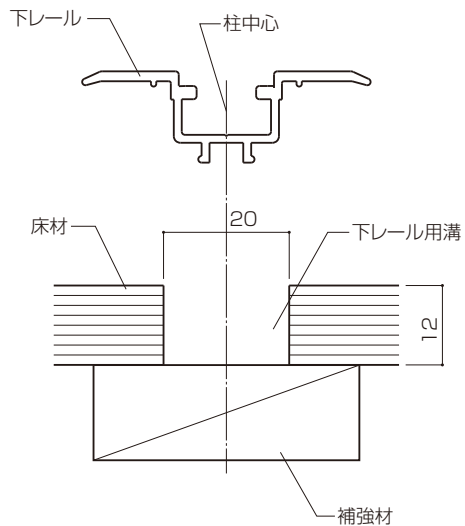
ケーシング付	品種	足長さ	対応壁厚
	薄壁用	8	111～121
		14	122～133
		19	134～141
		25	142～152
	厚壁用	8	142～148
		14	149～160
		19	161～170
		25	171～182

2 床の張り方

床施工上のお願い

- 下枠が正しく施工できなくなるので、床を見切る場合は以下を守ってください。
 - ・ 指定の位置、寸法で見切ってください。
 - ・ 補強材を入れてください。

- 床材を、下記寸法に合わせてすき間をあけて張ってください。



3 枠の組立て

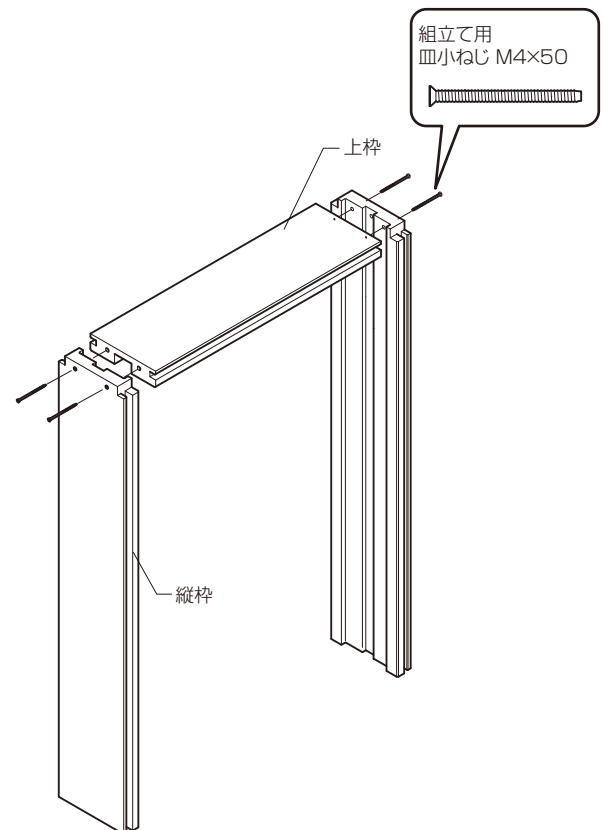
枠組立て上のお願い

- 枠の垂下がり・ゆがみの原因になるので同梱のねじを使用してください。

■ 枠用部品セット

部品名	W16	W24/W25	W34
組立て用 皿小ねじ M4×50	4	4	4

- 同梱のねじで枠を組立てます。



4 枠の取付け

▲ 注 意



- 上レールは必ず躯体へ本固定してください。本体が脱落し、ケガをするおそれがあります。

枠取付け上のお知らせ

- 枠の垂下がり・開閉不良の原因になるので下記事項をお守りください。
- ・コンクリートやモルタルに直付けする場合は設置面に、防水処理をしてください。
- ・同梱のねじを使用してください。
- ・枠は水平垂直に取付けてください。
- ・枠と躯体の間のかい木は表裏に接着剤(現場手配)を塗布してねじ固定部に入れてください。
- ・上枠、下レールは固定ねじを締めすぎないでください。

- ①枠と躯体の間にかい木を入れて縦枠、上枠を指定のねじで固定します。
- ※ジョイントレールは吊込み時に外すので固定しないでください。
- ②縦枠下部ピースの足に下レールの足が入るように配置し、指定のねじで固定します。

■枠用部品セット

部品名	W16	W24/W25	W34
上枠取付け用 トラスタッピンねじφ4×50	6	8	11
縦枠取付け用DNねじ (皿木ねじ)φ3.8×50	6	6	6

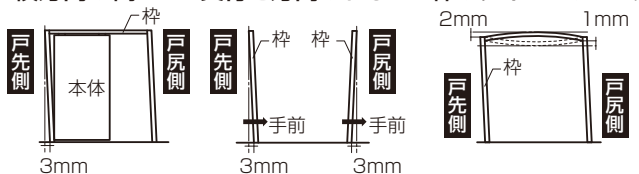
■下枠用部品セット

部品名	W16	W24/W25	W34
下レール固定用 皿タッピンねじφ3.5×20	5	7	9

●取付け精度について

下図の範囲内で必ず取付けしてください。

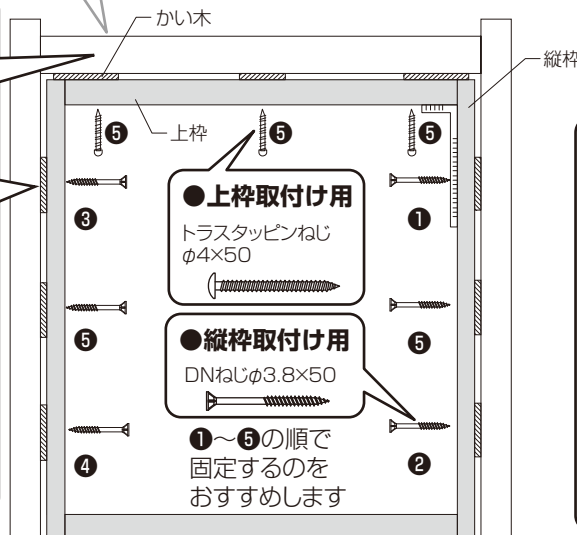
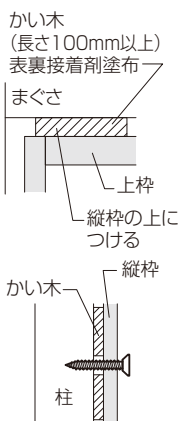
横方向の倒れ 奥行き方向のねじれ 枠のタイコ・ツツミ



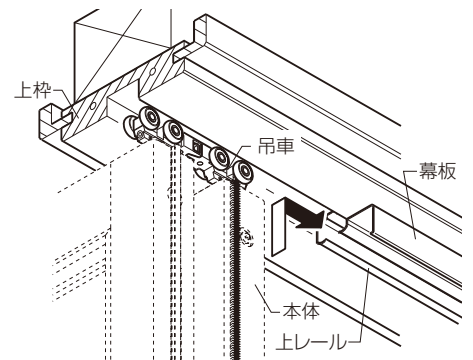
※範囲を超えると作動不良となります。

ジョイントレールはまだ固定しない

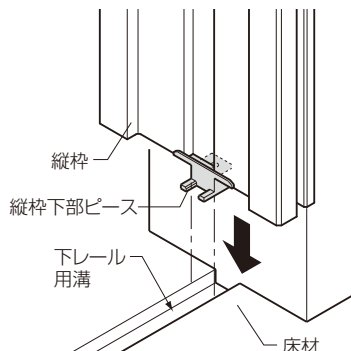
●かい木について



●幕板の向きと本体の折れ方向の関係



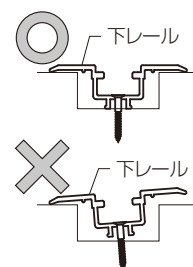
●枠の位置出し



●下枠の取付け



レールは浮かないように！



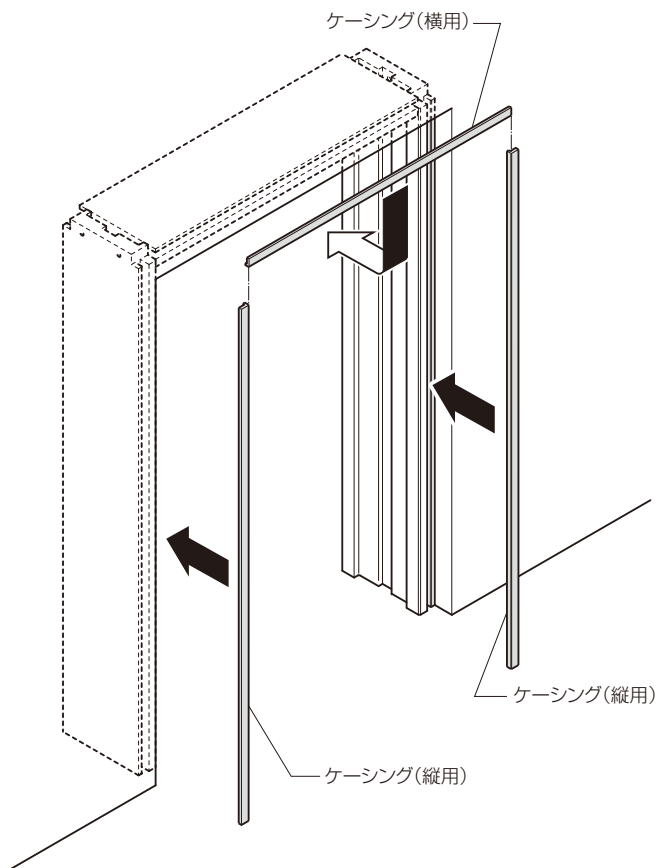
※床材厚さ15mmの場合:3mmの下地材(現場手配)を下レール溝に取付け

Ⅴケーシングの取付け

ケーシング取付け上のお願ひ

●壁材・床材を仕上げてから取付けてください。

- ①ケーシングを現場寸法に合わせて切断します。
- ②ケーシング裏面と枠のケーシング溝に接着剤(現場手配)を塗布し、固定します。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)



Ⅵ本体部品の取付け

▲注 意



●吊車はゆるみ・ガタツキなく固定してください。本体が落下し、ケガをするおそれがあります。

本体部品取付け上のお願ひ

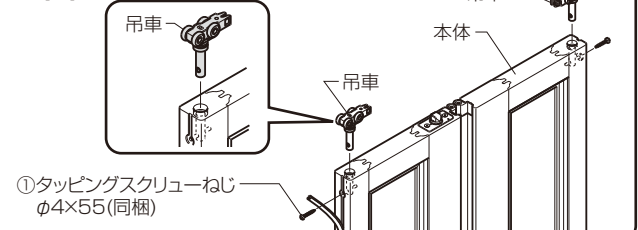
●ガイドピボットが破損するので、当て木をして圧入してください。

- ①本体上部に吊車を差し込み、框パッキンをよけてねじ固定します。
 - ②本体下部にガイドピボットを圧入します。
 - ③框のパッキン溝の図の位置に接着剤(現場手配)を10mmほど塗布します。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)
 - ④框パッキンのリケイ紙をはがし、本体に貼り付けます。
- ※接着剤が固まるまでは養生をして1日程度扉を閉めないでください。

■本体用部品<本体同梱>

部品名		数量
吊車		2
ガイドピボット		2
吊車取付け用 タッピングスクリューねじ φ4×55		2

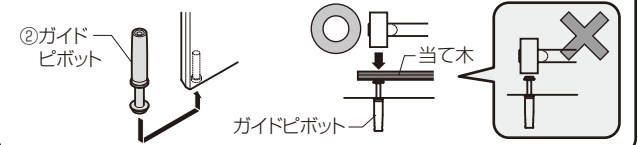
●吊車



●框パッキン

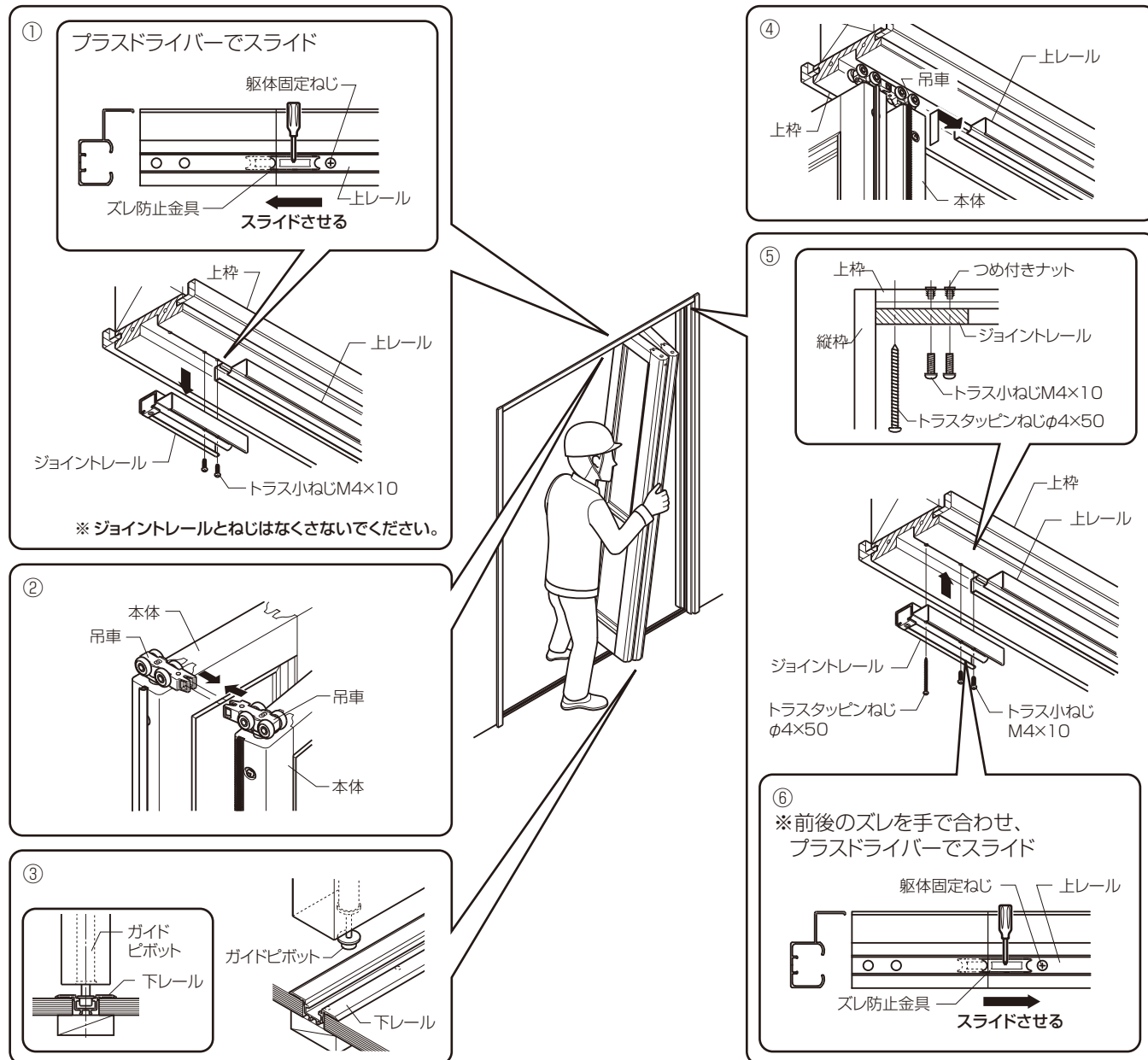


●ガイドピボット



7 本体の吊込み

- ①ズレ防止金具をジョイントレール側にスライドさせて、ジョイントレールを外します。
- ②本体を折りたたみ、左右の吊車同士をかみ合わせます。
- ③ガイドピボットを下レールに差し込みます。
- ④レールの端部から吊車を差し込みます。
- ⑤連結部に段差が出ないようにジョイントレールを再度取付けます。
- ⑥ズレ防止金具をスライドさせます。



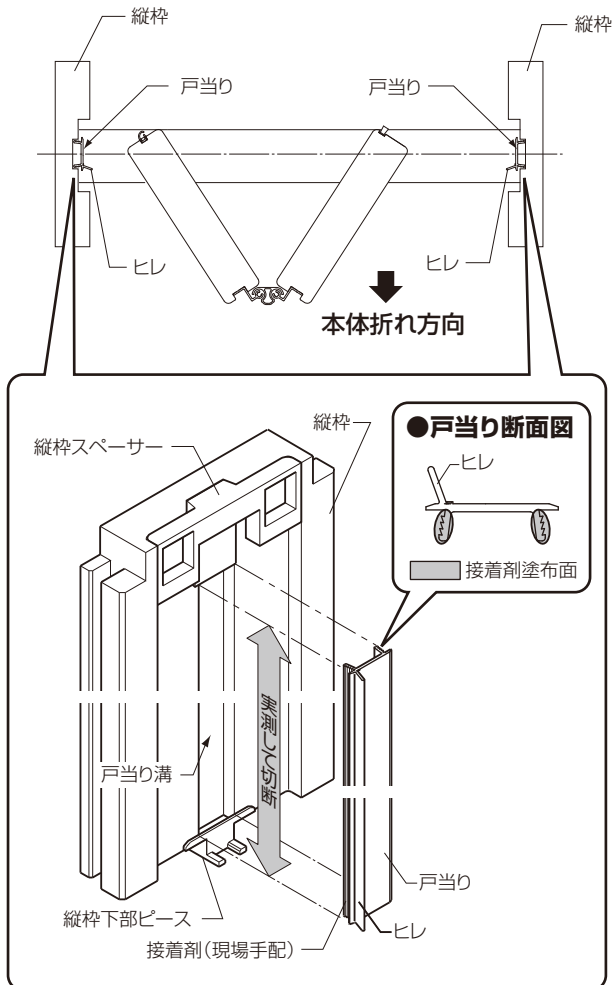
8 戸当たりの取付け

戸当り取付け上のお願ひ

- 戸当りが破損するので、必ず当て木をして取付けてください。

- ①戸当りを実測寸法で切断します。
- ②戸当り取付け部リップ全面に木工用接着剤(現場手配)を塗布して取付けます。(はみ出た接着剤は必ず拭き取ってください。)

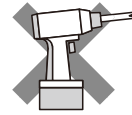
●ヒレの向き



9 建付け調整(本体の上下・左右調整)

建付け調整上のお願ひ

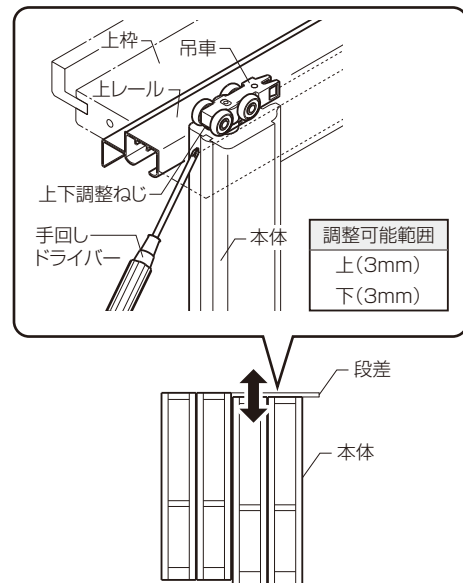
- 製品が破損するので、必ず手回しドライバーで調整してください。



**電動
ドライバー 使用厳禁**

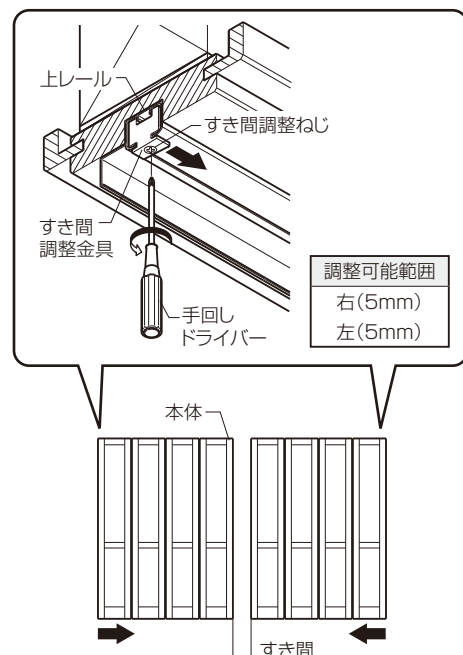
■本体の上下調整

- 本体が段違いになった場合は、左右吊車の上下調整ねじをドライバーで回して調整します。



■左右方向の調整

- 本体間のすき間が大きい場合は、上レール両端のすき間調整ねじをドライバーで回して調整します。



四建付け調整 (キャッチ力の調整)

キャッチ力の調整上のお願ひ

- 破損防止のため、キャッチは「カチッ」という手応えを感じるまで回してください。

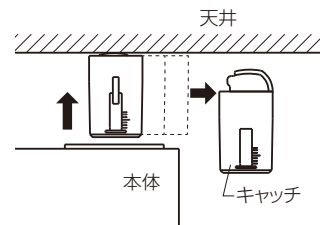
〈キャッチの取外しと調整〉

- ①本体を開け、キャッチを外します。
※キャッチのヘッドを左に回してロックを解除し、キャッチを上引き抜きます。
- ②キャッチ下面の調整ねじをプラスドライバーで回して調整してください。

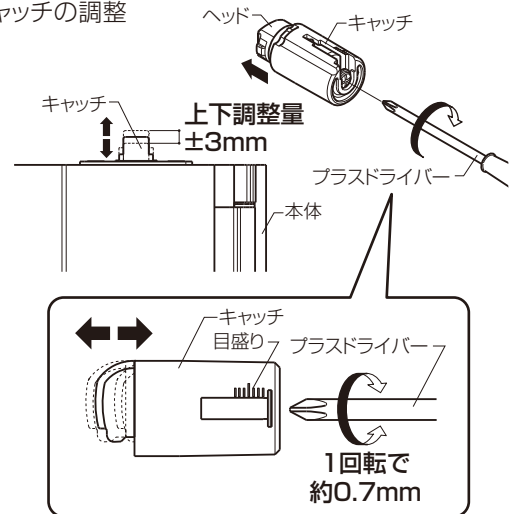
〈キャッチの取付け〉

- ③キャッチを穴に差し込み、キャッチのヘッドを右に回してロックしてください。
- ※「カチッ」という手応えがあるまで回します。
- ④本体を閉めて、キャッチの掛かりを確認します。
- ※うまくいかない場合は、①～④の作業を繰り返してください。

- 天井と本体上端とのスペースが小さい場合は、キャッチを天井に押付けて、キャッチ全長を短くした状態で横に抜いてください。



②キャッチの調整



- キャッチ力が弱いとき

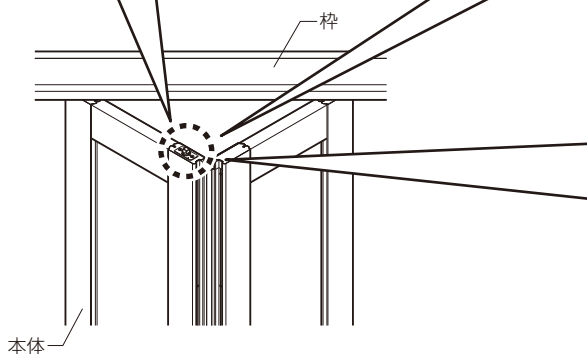
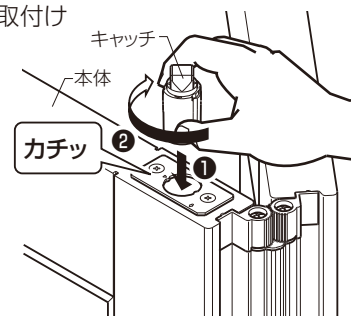
時計回り

- キャッチ力が強いとき

反時計回り

- キャッチが上枠に当り、本体を閉めることができないとき

③キャッチの取付け



困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

製品ラベルの二次元バーコードを読み取ると、メンテナンス情報にアクセスできます。

※製品ごとに合わせた情報を公開しています。



●スマホ画面

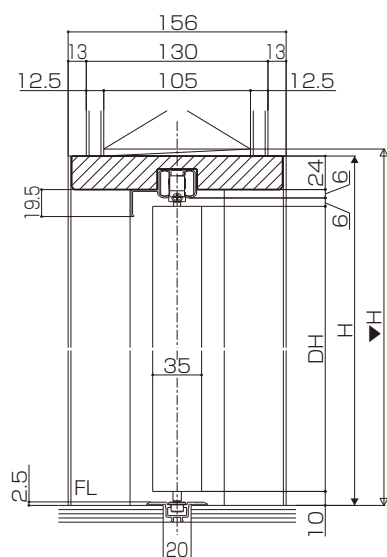
○お客さまサポート

- | | |
|---------------------|---|
| ⚠ 安全にお使いいただくために | + |
| ? よくあるお問い合わせ | + |
| 🧹 お手入れ・お掃除 | + |
| 📖 取扱説明 | + |
| 🔧 調整方法 | + |
| ❗ 故障かなと思ったら | + |
| 🔧 施工説明 | + |
| 🛒 部品購入 | ➡ |
| 📞 お問い合わせ | + |
| 🔧 修理のご依頼 | ➡ |
| 👤 リクシルオーナーズクラブへのご登録 | ➡ |

■納まり図

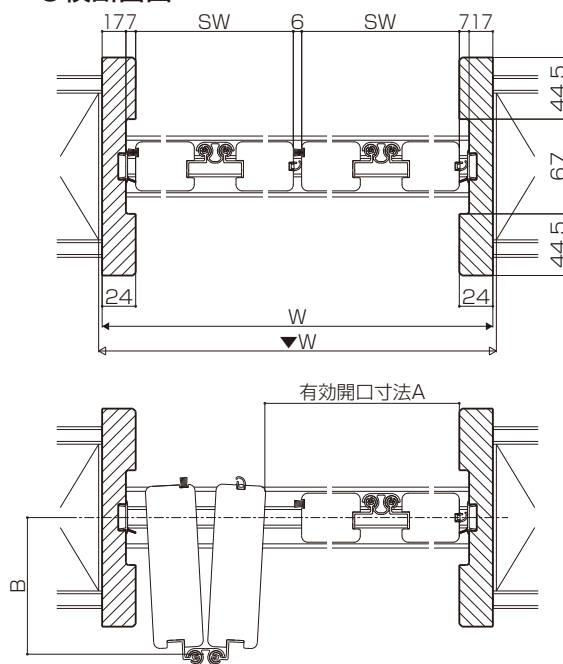
■可動間仕切り折れ戸ユニット ノンケーシングタイプ

●縦断面図



※ 枠見込み寸法が変わっても、下レールの位置は、縦枠センター位置となります。

●横断面図

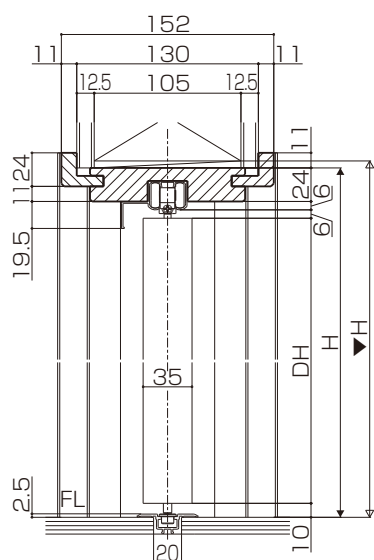


W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16 (1644)	1369	375
W25 (2550)	2161	392.5
W34 (3386)	2882	392.5

基本 寸法 (mm)	W 呼称	16	25	34
	W (DW)	1644 (795)	2550 (830)	3386 (830)
	H 呼称	23	—	—
	H (DH)	2306 (2260)	—	—

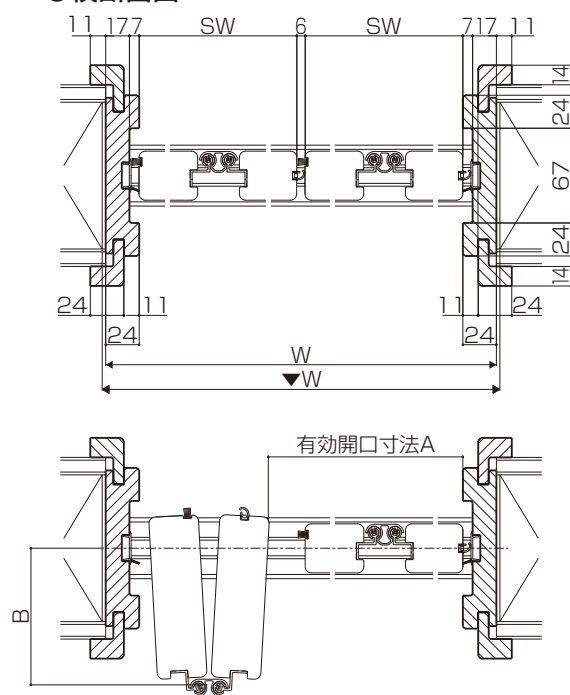
■可動間仕切り折れ戸ユニット ケーシングタイプ

●縦断面図



※ 枠見込み寸法が変わっても、下レールの位置は、縦枠センター位置となります。

●横断面図



W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16 (1644)	1369	375
W24 (2445)	2056	375
W34 (3386)	2882	392.5

基本 寸法 (mm)	W 呼称	16	25	34
	W (DW)	1644 (795)	2445 (795)	3386 (830)
	H 呼称	23	—	—
	H (DH)	2306 (2260)	—	—

MEMO

MEMO
